

# 母校の今昔物語

## 岐阜高校あのころ...



学校新聞より

### 卒業生に贈るはなむけの言葉

—四十年三月

生きる道——冷静さと闘志と

和

運。鈍。根。

三の一 飯尾誠太郎

三の二 磯村 貞子

三の三 後藤 恭一

なさずして可能性を惜しまれるよりは、なして努力をたたえられる人間でありたい。

三の四 後藤 勝

学校新聞より

### 卒業生に贈るはなむけの言葉

—五十年三月

想像をこえる人生のきびしさを、若人は、苦とせず、勇気をもって克服していく！その姿は、実に美しくもあり、逞しくもある。

無限の可能性を秘め  
さあ、出発したまえ。

一組 山田 喜三

「天は自ら助くる者を助く」  
平凡ですが、私の好きな言葉です。

漠然と時機到来を待つ、というのでは、あまりにも消極的であり、それでは、たとえ好機が到来しても、すぐそれをつかむことはできないでしょう。常に自己の成長を志し、その努力を続けて下さい。天は必ずや諸君の志を認め、その機会を与えられるでしょう。

二組 江崎 力

最善を尽くせ

壁、突破、気力、汗、喜、

誠実、努力

きずつけずあれ

理屈を言わず、実行力のある人になれ。

諸君は一人一人が無限の可能性を持っている。

三の五 塚原 史朗

三の六 武藤 暎忠

三の七 林 岩夫

三の八 柳瀬 道夫

三の九 山田 一雄

三の十 吉田 隆司

年を区分するのに「二十四節気」がある。立春・啓蟄（ケイチツ）・春分・夏至・大暑・立秋・秋分・大雪・冬至・小寒・大寒などは、特によく言われる節気だ。

「啓蟄」は三月六日。穴ごもりの虫（蟄）のはい出す日である。卒業はいわば諸君の啓蟄。暦は順行するが、歴史の変転は予断を許さぬ。行く手は厳しい。ご健闘を祈る。

”節操と気骨ある生き方を！”  
時には遊びに来てくれたまえ。

三組 西尾 昭夫

みんなのしあわせを考える中で、自分のしあわせを考えていく人間であってほしい。

四組 森下 治美

ご卒業おめでとう。この三年間、受験のために、昼夜、狂者・野獣の如く打ち込んで得た学問を無駄にせず、希望の大学に進学されることを望みます。そして、より理性的な人間であっても、神仏に畏敬の念を抱くことの気持を、人生の指針に添えてほしいと思います。

五組 山田 三郎

狂乱物価や公害等、混濁の世を直すには、一人一人が深く内省して、心の襟を正さねばなりません。みんなが物質面の充足のみに狂奔して精神面を空虚にしていたら、世は悪くなるばかりです。どうか諸君、あきらめず、あせらず、常に着実に努力前進して、たとえ小さくとも、暗夜に一灯を点じられるような人になって下さい。

六組 吉田 隆司

世間の名声を得るために努力するのでなく、より人間的になるために努力されることを望みます。

七組 川田 一朗

さらば！

旅立ちゆく若き友よ。

訣別のこの日は、新しい邂逅への第一歩だ。人生という旅の中で、めぐり合うことの意味を問い、確かめながら、自らの生きる場を築いていこう。

前途に豊かなる邂逅あれかし！

八組 高田 睦

”理解”（understand）とは、  
一歩下（under）  
立って（stand）  
考えることが大切である。

九組 竹下喜美雄

大胆な思考をしよう！

例えば、  
”部分と全体は等しい”と。

九組 大矢 邦彦

○卒業おめでとう。

○”思い出にのこる教育を”

”ひとりひとりを大切に”する教育を”  
というのが、今年の私の教育方針でしたが、どれだけ達せられたことか。卒業の時期がきて、皆さんとお別れするときになって、悔んでいる私です。

○幾久しくご昵懇に。

○皆さん及び皆さんのご両親のご健康を祈念します。

○さようなら。

十組 渡辺 利昭

学校新聞より

卒業生に贈るはなむけの言葉  
—六十年三月

後生可畏。

自分の頭で考え、自分の足で歩ける人になって下さい。

- 一組 森 俊勝
- 二組 内川 史朗

「ヨーロッパの没落」が言われたしてから久しい。しかし現代生活を支えているものは、好むと好まざるにかかわらずヨーロッパ文明によるものが多い。でき得れば大学へ入ったら大いにアルバイトをして、ヨーロッパをじかに見る機会を持つて欲しい。多感な時期にこそ行つて欲しいと思う。現代文明とは何かを考えるきっかけになるであらう。

- 三組 戸田 孝道

卒業おめでとう。

大学に進む人、また就職する人いろいろの道へ進むでしょうが、今の世の中、大変厳しい世の中です。その中で自分自身を見失わず、かつ、物事の真偽を見きわめる目を養つて下さい。

- 四組 沼波 政信

卒業生へ—今様風二首—

そ 空麗はしく風南東 とう

つ 強き心を持つ門出 で

ぎよ 漁父の利頼む夢を覚め め

う 失ふなかれ汝が時を お

丙午のと言はれしが

今日卒業の晴れがまし

世を吹く風は寒くとも

花の盛りは近からん

- 五組 佐口 修一

青春の試練が訪れた時—感傷的になるもいい、深刻な顔も結構だ、「耐えること」自体の意味をも思い出してほしいと思つ。

- 六組 高田 睦



在校生2年 笠井 祥穂

御卒業おめでとう。至言、名言を饒とします。

・妥協—いつか雨をしのぐ傘としては役に立つが、屋根としてはお粗末なもの。(ツッセル)

・人生には、物事が起こるに任せるときと、物事が起こるように仕向けるときがある。(ヒュー・ブレイザー)

- 七組 宮部 敏男

今までの学校は、夏の猛暑、酷寒の冬から脆弱な諸君を庇護する場であった。学校なるが故に甘えも看過されたが、今後は、社会の怒濤に流されることなく、独力で自分の将来を切り拓かねばならない。百折不撓の精神で逞しく生きられんことを希望します。

- 八組 江崎 正徳

九組の諸君、二〇〇二年になったら、その時高三になっている我が息子に言つてやつてほしい。

「おじさんたちのクラスはな、思いつきり明るく、しかも優しく、何よりちゃんと強い若者たちばかりだった。今のきみたちはどうなんだ。」

- 九組 水野 秀則

時は流れても、暖かな心はかわらないであつてほしい。



在校生2年 山田 拓見

学校新聞より

在校生におくる言葉  
—四十年三月

Every man is the architect of his own fortune

(人は皆各人の運命の建設者)

- 三の一 高屋 明弘(バレー部主将)

「我が道」を求め、歩いて下さい

- 三の二 長谷川春子(AFS留学生)

クラブの発展を君達の手で

- 三の三 永井 豊(聖火走者)

Heaven helps those who help themselves

- 三の四 田中 恭子(生徒議会議員)

「わかちやるけど、やめられない。」自分でやめる力がない。

- 三の五 花川幸一郎(応援団リーダー)

しかし、やがてやめさせる時がくる。

- 三の六 小川 広彦(HR委員長)

先人の辿りし道正しかりや。欲望の虜となりて、吊橋を落つることなかれ

- 三の七 後藤 郁夫(元生徒会議員)

常に自分を知り、謙虚にであること。

- 三の八 大塚 泰子(前生徒会役員)

背のびをしなないで、一歩一歩堅実に進もう

- 三の九 鷹津 文磨(HR委員長)

まわりの情勢に押し流されないで、いつも自分の頭で考えた自分の意見を持ちたい

- 三の十 野村誠一郎(文芸部長)

計画を立て、それを守る

- 三の九 鷹津 文磨(HR委員長)

無責任時代は去った

- 三の十 野村誠一郎(文芸部長)

# 母校の今昔物語 岐阜高校いま・・・



学校新聞「岐高だより」H19.7月 第88号より

岐高だより

## 部活動だより 平成19年度 部活動 試合結果等

### 体育系

部名	活動・試合結果など
硬式野球	春季地区大会出場 現在、夏の甲子園大会出場を目指し、選手一丸となって練習に動んでいます。
陸上競技	県高校総体 男子4×400mリレー 第2位 松尾祐輔, 加藤浩平, 堀 正人, 熊崎貴斗, 森 豊啓, 合田瑛志 女子 1500m 第5位 鈴木沙季 女子 3000m 第6位 鈴木沙季 (上記7名、東海高校総体出場)
サッカー	県高校総体 ベスト8 1回戦 岐阜 2-0 加茂 2回戦 岐阜 1-0 大垣日大 準々決勝 岐阜 0-3 中京
バレーボール男子	スプリングチャレンジカップ2部A 第1位 2回戦 岐阜 2-1 可兒 準決勝 岐阜 2-0 大垣工業 決勝 岐阜 2-0 恵那 県高校総体ベスト16 1回戦 岐阜 2-0 郡上北 2回戦 岐阜 0-2 岐阜工業
バレーボール女子	スプリングチャレンジカップ2部 1回戦 岐阜 0-2 岐阜北 県高校総体地区予選 2回戦 岐阜 2-0 岐阜女子 県高校総体県大会 1回戦 岐阜 0-2 益田清風
バスケボール男子	県高校総体 1回戦 岐阜 79-89 長良
バスケボール女子	県高校総体 1回戦 岐阜 45-81 斐太
ソフトテニス	県高校総体 男子団体 2回戦 岐阜 0-3 大垣工業 女子団体 2回戦 岐阜 0-3 大垣東 男子個人 福井・松野ペア 1回戦で敗退
水泳競技	県高校総体 男子50m自由形 第8位 竹中拓也 (東海総体出場) 男子200mバタフライ 第8位 栗田浩佑 (東海総体出場)
卓球	県高校総体 男子団体 1回戦 岐阜 3-2 吉城 2回戦 岐阜 1-3 多治見工業 女子団体 1回戦 岐阜 3-1 大垣東 2回戦 岐阜 0-3 高山西 女子ダブルス 2回戦 野村・浅野ペア 0-3 斐太
バドミントン	県高校総体 男子団体 1回戦 岐阜 3-1 益田清風 2回戦 岐阜 0-3 岐阜商
柔道	県高校総体 男子団体 1回戦 岐阜 1-2 多治見工業 男子個人73kg級 渡辺智彦 2回戦敗退
剣道	県高校総体 男子団体 1回戦 岐阜 3-0 多治見北 2回戦 岐阜 3-0 本巣松陽 3回戦 岐阜 2-2 岐阜商 ※3回戦2対2 本数負け(1本差) ベスト16 女子団体 1回戦 岐阜 0-5 中京 男子個人 2回戦 大前, 小畑 女子個人 2回戦 亀水, 高橋
軟式野球	県高校総体 岐阜 0-4 中津
テニス男子	県高校総体 男子団体 ベスト8 男子ダブルス 2ペア出場
テニス女子	県高校総体 女子団体 1回戦 岐阜 3-0 恵那 2回戦 岐阜 1-2 帝京可兒
ハンドボール	県高校総体 岐阜 18-35 高山西

### 文化系

部名	活動・試合結果など
美術	岐阜県美術展青年部 絵画部門 入選2名 デザイン部門 入選1名 立体造形部門 入選1名
書道	岐阜県美術展青年部 書の部門 優秀賞 榎瀬潤子, 土井秋彦, 西川公美子, 鍋木佑介 他 12名入選 全国高等学校総合文化祭 出品 (県下5名中の1人)
演劇	現在、部員は2年生が1名いるだけで、大会等に参加することが難しい状況ですが、7月の地区大会に参加したいと思っています。現在は照明管理・脚本研究を行っています。
音楽	「熱く魂をゆさぶる音楽」をめざし、活動しています。限られた時間の中でいかに効率よく練習をするかが課題です。個性豊かな仲間と音を紡ぐなかで多くの感動を体験できることは大きな喜びです。
文芸	文化祭の部誌の発行をめざし、小説や詩、イラストなどの個人作品の創作とともに合同制作の作品を夏休みまでに完成させようと頑張っています。秋の部誌コンクールや文芸コンクールの上位入賞をねらっています。
茶華道	茶道 裏千家の準教授の資格をもつ講師の方に週1回、指導していただいています。 華道 四季折々の花の名前を覚えながら、「華道則天門」の生け花を週1回学んでいます。
自然科学	生物班 6月30日(土)飛騨地区開催の自然観察会に参加。 8月に島根県で開催される全国高校総合文化祭でポスター発表します。 化学班 研究テーマ「乾電池中のマンガンの固定」、「p-ヒドロキシアゾベンゼンの合成」、「高温の反応(ペルヌーイ法)」、「メチレンブルーの呈色」を探究中です。 天文班 岐阜祭での研究発表・展示を目標に活動しています。
ESS・ディベート	第15回東海地区中学校高校ディベート大会に向けて活動しています。
調理	現在、岐阜祭のバザー試作の検討中です。昨年度のバウンドケーキに引き続き中身の濃いものに挑戦したいと考えています。乞うご期待ください。
写真	岐阜県美術展青年部 高校写真の部 入選 小早川裕美, 松波美里
囲碁・将棋	第31回全国高校囲碁選手権大会岐阜県大会 男子個人 2位 小林弘和(文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会出場、高等学校総合文化祭囲碁部門出場)
吹奏楽	ソロコンテスト岐阜地区大会 金賞受賞者10名(県大会出場者4名) 北山美穂(フルート), 安田有希(フルート) 澤田容子(サクソ), 石田智彦(サクソ)
クイズ研究	「全国高等学校クイズ選手権」に参加するほか、各種団体の主催する大会に参加しています。クイズの王道をめざすべく、日頃より実践的なトレーニング問題に地道に取り組んでいます。

### 局・その他

部名	活動・試合結果など
図書	図書館でカウンター当番や図書館だより「朝な夕な読書三昧」の作成、「図書館報」の発行をしています。この春、新入局員を迎え、19名で活動しています。
放送	美しく豊かな日本語を大切に作る気持ちをモットーに、自然な発声で聞き手に正しく意味を伝えるために毎日、発声と基本的な話し口調の練習に努めています。
家庭クラブ	文化祭の活動として、「あんしんハウス桜木」及び「ウェルビュー明郷」の高齢者との交流会や岐阜県の伝統料理「ほうば寿司」づくりと販売(ぜひご賞味ください)をします。また、NHK・J A後援「全国高校生対抗ごほんCUP 2007」に愛知県立稲沢高校とユニットを組み、最終選考に向けて研究活動を進めています。



# 部活動だより

平成19年度 部活動 試合結果等

## 体育系

部名	活動・試合結果など
硬式野球	岐阜地区大会 2勝1敗1分 岐阜県大会 1回戦 岐阜 2-1 郡上 2回戦 岐阜 1-8 大垣商業 ベスト16
陸上競技	県高校新人大会 男子4x400mリレー 第6位 阿部 素廣, 玉置 哲大, 合田 瑛志, 熊崎 貴斗, 松岡 慎也, 田口 保成 女子1500m 第3位 鈴木 沙季 女子3000m 第3位 鈴木 沙季 女子800m 第4位 土岐美美子 女子400m 第6位 土岐美美子 (以上5種目8名、東海高校新人大会に出場) 地区高校総体 駅伝の部 沙季 2区 土岐美美子 区間新記録 女子第4位1区 鈴木 沙季 東海高校新人大会 女子3000m 第2位 鈴木 沙季 女子1500m 第4位 鈴木 沙季 女子800m 第4位 土岐美美子
サッカー	地区高校総体 1回戦 岐阜 3-0 岐山 2回戦 岐阜 1-3 各務原 岐阜県ユースリーグ (G3) 2勝2敗1分 第4位
バレーボール男子	地区高校総体 1回戦 岐阜 2-0 富田 2回戦 岐阜 0-2 長良 県高校新人大会地区予選 岐阜 2-0 岐阜高専 県高校新人大会 2回戦 岐阜 0-2 大垣工業
バレーボール女子	地区高校総体 1回戦 岐阜 2-0 羽島北 2回戦 岐阜 0-2 岐阜各務野 県高校新人大会地区予選 岐阜 1-2 済美
バスケットボール男子	地区高校総体 1回戦 岐阜 88-77 岐阜商 2回戦 岐阜 65-75 山県 1回戦 岐阜 139-57 関有知 2回戦 岐阜 110-94 多治見 3回戦 岐阜 64-107 美濃加茂
バスケットボール女子	地区高校総体 1回戦 岐阜 41-56 岐阜北 2回戦 岐阜 71-80 美濃加茂
ソフトテニス	県高校新人大会 男子団体 2回戦 岐阜 2-1 鶯谷 3回戦 岐阜 0-2 益田清風 女子団体 1回戦 岐阜 1-2 恵那 予選リーグ 岐阜 1-2 岐阜第一 岐阜 0-3 鶯谷 岐阜 1-2 長良 岐阜 0-3 富田
水泳競技	県高校総体 男子50m自由形 第8位 竹中拓也 (東海総体出場) 男子200mバタフライ 第8位 栗田浩佑 (東海総体出場) 地区高校総体 男子200mリレー(フリー) 第3位 竹中・松野・栗田・若井 県高校新人大会 男子200m背泳ぎ 第3位 松野志直 全日本選手権大会Jrの部 男子個人 3回戦進出 川尻 雄基・河合 良太 県大会 2回戦進出 市来 尚久 女子個人 ベスト32 浅野 智晴
卓球	県高校新人大会地区予選 男子団体(地区推薦を除き)地区2位にて県大会へ出場 女子団体 地区推薦にて県大会へ出場 東海卓球選手権大会県予選 男子Jr個人 予選通過 川尻 雄基 本大会へ出場
バドミントン	県高校新人大会地区予選 男子団体 岐阜 3-2 本巣松陽 岐阜 3-2 各務原西 岐阜 0-3 富田 岐阜 3-1 鶯谷(岐阜) 岐阜地区3位で県大会へ 女子団体 岐阜 3-0 鶯谷 岐阜 0-3 富田 女子個人(ダブルス) 浅野・山森 県大会へ
柔道	地区高校総体 男子団体 1回戦 岐阜 2-1 清翔 2回戦 岐阜 0-5 岐阜第一 地区剣道大会 男子団体 第3位 岐阜 4-0 羽島北 岐阜 3-0 富田 岐阜 0-2 岐阜東 女子団体 2回戦 岐阜 3-0 本巣松陽 岐阜 0-4 市岐商
剣道	男子個人 第3位 服部泰之 (県大会出場) ベスト16 松尾崇弘 (県大会出場) 第53回県新人戦 男子団体 ベスト16 岐阜 3-0 中津川工 岐阜 5-0 大垣西 岐阜 1-3 高山西 女子団体 岐阜 2-2 関(本教員)
軟式野球	地区高校総体 岐阜 3-5 岐阜工業 岐阜 8-6 岐阜商 秋季(新人)大会 岐阜 2-3 高山西(延長13回)
テニス男子	地区高校総体 男子団体 準優勝 県高校新人大会 男子団体 2回戦敗退 ダブルス 1ペア出場
テニス女子	県高校新人大会 女子団体 ベスト8 女子シングルス 2回戦進出 橋本佳奈 女子ダブルス 2回戦進出 橋本・恵田, 並木・渡邊 久幹, 木全
ハンドボール	堤杯岐阜県選手権 1部 1回戦 岐阜A 12-37 岐阜北A 2部 2回戦 岐阜B 29-24 可児工 準決勝 岐阜B 22-29 富田 準決勝 岐阜 27-9 岐阜高専 準決勝 岐阜 11-47 岐阜北 2回戦 岐阜 25-16 長良 (県大会出場権獲得)

## 文化系

部名	活動・試合結果など
美術	岐阜地区高等学校美術展 絵画の部 優秀賞 長谷部早紀 絵画の部 奨励賞 田口 静華 立体の部 優秀賞 小嶋 麻友 映像の部 優秀賞 三宅ななせ 以上、県総文美術工芸展に出品 各務原市高校生美術展 絵画の部 入選 三宅ななせ デザインの部 入選 長谷部早紀
書道	第31回全国高等学校総合文化祭 書道部門「特別賞」 西垣 美和 国際高校生選抜書展 優秀賞 西川公美子 各務原市高校生美術展 (書の部) 最優秀賞 2年 領木 佑介 優秀賞 2年 高橋亜友子
演劇	岐阜北地区合同公演 脚本賞受賞 第47回岐阜県合唱コンクール シード団体 第60回全日本合唱コンクール中部支部大会 金賞, 岐阜県教育委員会賞 第60回全日本合唱コンクール全国大会 金賞, 文部科学大臣賞
音楽	第74回NHK全国学校音楽コンクール 岐阜県コンクール 金賞 第74回NHK全国学校音楽コンクール 東海北陸ブロックコンクール 銅賞 岐阜市教育委員会賞受賞
文芸	岐阜県文芸コンクール 小説部門 第1位 栗山 霧香 読書部門 第1位
自然科学	岐阜県総合文化祭総合企画16部会交歓会において、自然科学部会を代表して活動の様子を紹介。(生物班部長 菅野一輝) 生物班 第31回全国高等学校総合文化祭 パネル発表部門 文化連盟賞 岐阜市の貴重野生動物植物に指定されている「カスミサンショウウオ」の保護に関して細江岐阜市長より感謝状をいただきました。 化学班 全国高校化学グランプリ2007 東海支部長賞 古川孝太郎 日本化学会東海支部高校化学研究発表交流会 奨励賞 「過マンガン酸カリウムの酸化還元滴定で生じた黒い固体について」(英語発表) 天文班 岐阜祭で研究発表・展示「大型放物面による太陽熱利用について」
ESS・ディベート	第1回全国高等学校英語スピーチコンテスト 東海北陸ブロック大会 第1位 田中みゆき ディベート東海大会出場
調理	岐阜祭では「ガレット」というお菓子を「メレンゲクッキー」を作って販売しました。来年も皆さんに喜んでもらえるものを作りたいです。
写真	岐阜県高校写真コンテスト 奨励賞 小早川佑実, 野田佳那
囲碁・将棋	第32回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会 全国大会出場 小林 弘和 第31回全国高等学校総合文化祭 囲碁部門 小林 弘和 第27回東海地区高等学校囲碁選手権大会 団体 小林 弘和 山田 裕貴 養毛 崇章 個人 小林 弘和
吹奏楽	岐阜県吹奏楽ソロコンテスト県大会 最優秀賞 石田 智彦 (サクソフォン) 金賞 北山 美穂 (フルート) 銀賞 澤田 容子 (サクソフォン) 銀賞 安田 有希 (フルート) 岐阜県吹奏楽コンクール 大編成の部 銀賞
クイズ研究	第27回全国高等学校クイズ選手権中部地区大会決勝進出 春日井・亀瀬・今井田 文化祭ではクイズ大会の企画を行い、多くの方に参加していただきました。

## 局・その他

部名	活動・試合結果など
図書	図書館でカウンター当番や図書館だより「朝な夕な読書三昧」の作成をしています。1月に図書館講演会、新年1月下旬にカルタ大会を開催します。
放送	アナウンス部門を中心に毎日発声と基本的な話し口調の練習に努めています。 第42回岐阜県高等学校放送コンテスト 朗読部門参加 岡田真味, 加治佐 遥
空手	東海高校新人大会 空手部門 出展数続音 (団体出場)
家庭クラブ	第28回全国高校生ホームプロジェクトコンクール 優秀賞 関谷 仁志 各務原キムチ アイデア料理コンテスト グランプリ 大橋 友美 2次出場 大橋 史佳 優秀賞 岡本 千鶴 岐阜スローフードコンテスト 優秀賞 岡本 千鶴 毎日農業記録賞 地区入賞 澤 美穂

思い出の母校・1

全面改築を控えて

本校の校舎は今年から順次改築され、平成24年から新校舎として全面的な供用が始まる予定です。本会報では、平成17年に47年卒の方々による「岐高散策」で校舎の近況が掲載されました。ここでは、同窓生の数々の思い出がしみこんだ懐かしい校舎を改めてご覧いただきたいと思えます。

なお写真は本校に勤務しておいでの数字の水谷透氏(52年卒)にご提供いただきました。紙面を借りて御礼を申しあげます。



校名の銘板  
正門の右側の門柱です。



旧体育館の銘板  
新体育館近くの東門。



校歌碑 正門に向かって右に聳える榎の木陰にあります。昭和58年の創立110周年記念碑です。



格技場(剣道部)



得点掲示板  
理科棟グラウンド側の壁面です。



購買部室





レトロなグッズたち  
(左) 電灯スイッチ (右) 電灯とスピーカー



プールと部室 改築工事で最初に取り壊されます。



本館階級の告知板  
最近では機能していない。



耐震補強完備



教室から市街地を望む



本館廊下から華陽校舎・北舎・理科棟を望む



職員室



思い出の母校・2

あの頃の行事は今

時代は移っても、今も受け継がれる伝統があります。ここでは、最近の生徒諸君のようすをご覧いただき、往時を思い起こしていただきたいと思えます。

なお、写真は芸術（美術）の谷口輝己氏にご提供いただきました。紙面を借りて御礼を申し上げます。

入学式（4月）  
桜花爛漫の中、  
毎年3百余名の新生を迎えます。



授業風景  
「情報」、「総合的な学習の時間」など  
新たな教科もありますが、小テスト、再  
試験の嵐は今も・・・。



林間学舎 (7月)

林間学舎は昭和43年7月に竣工し、昨年には「友学館」の愛称がつけられました。  
 付近の景観は変わりましたが、学舎での活動は今も1年生最大の行事です。



文化祭・体育大会 (9月)

最近の岐高祭は「暑」くて「熱」いです。  
 残暑の時期に若さと情熱で盛り上がります。





# 岐阜高校これから… 新校舎パース



▲正面玄関を望む



▲グラウンドから校舎を望む



▲体育館から教室棟を望む

## 平成20年度 大学合格者数（浪人含）

大 学 名	合格者数	大 学 名	合格者数	大 学 名	合格者数
北海道大	1	名古屋市立大	11	朝日大	2
東北大	2	京都府立大	1	岐阜女子大	1
千葉大	4	大阪府立大	3	岐阜聖徳学園大	9
東京海洋大	1	神戸市外大	3	愛知大	4
お茶の水女子大	2	島根県立大	1	愛知医大	2
東京大	13	広島市立大	1	愛知学院大	5
東京外大	1	九州歯大	1	愛知淑徳大	1
東京学芸大	2	自治医大	2	金城学院大	3
東京農工大	1	千葉科学大	1	椋山女学園大	3
一橋大	2	青山学院大	13	中京大	7
横浜国立大	6	学習院大	3	豊田工大	5
富山大	3	北里大	2	名古屋外大	4
金沢大	10	慶応大	42	名古屋女子大	4
福井大	1	国際基督教大	1	南山大	125
信州大	2	駒澤大	1	藤田保健衛生大	9
岐阜大	28	芝浦工大	5	名城大	34
静岡大	3	上智大	6	京都外大	2
浜松医大	1	成蹊大	1	京都女子大	5
愛知教育大	2	成城大	2	京都薬大	4
名古屋大	38	専修大	1	同志社大	68
名古屋工大	6	中央大	45	同志社女子大	5
三重大	3	津田塾大	3	立命館大	129
滋賀大	6	東海大	4	龍谷大	1
京都大	22	東京工科大	1	大阪医大	1
京都工芸繊維大	1	東京女子大	7	大阪薬大	2
大阪大	16	東京電機大	1	関西大	6
神戸大	3	東京農大	3	近畿大	5
奈良女子大	2	東京薬大	1	関西学院大	5
鳥取大	1	東京理大	40	甲南大	3
岡山大	3	日本大	1	神戸女子大	2
広島大	3	日本女子大	2	防衛医科大学校	2
愛媛大	2	法政大	13	防衛大学校	4
鹿児島大	1	武蔵野美大	1		
首都大東京	1	明治大	18		
都留文科大	1	明治学院大	3		
岐阜薬大	18	立教大	8		
愛知県立大	1	早稲田大	57		
愛知県立芸大	1	金沢医大	1		

# 平成二十年度総会出席者名簿

## ●来賓

岐阜県知事

古田 肇

岐阜市長

細江 茂光

各務原市長

森 真

海津市長

松永 清彦

藍水くらぶ会長

村瀬 喜代子

在京同窓会会長

宮本 悠美子

岐阜高校校長

田村 弘司

恩師

高井 廣和

吉田 豊

富成 侑彦

近松 隆夫

塚原 史朗

後藤 勝

武藤 映忠

柳瀬 道夫

山田 三郎

渡辺 利昭

森 俊勝

佐口 修一

宮部 敏男

江崎 正徳

内川 史郎

●会員

岐中

昭和9年卒

坂井 熙

昭和13年卒

信田 義朗

昭和15年卒

翠 忠明

昭和17年卒

信田 秀明

昭和18年卒

高井 廣和

昭和19年卒

伊藤 義郎

宮田 知郎

林 幸雄

堤 政

箕浦 宗吉

神田 芳朗

安部 源平

井戸 豊彦

加納宏一郎

栗野 道男

高賀 登

富成 侑彦

服部準之助

松尾 正寿

真野 哲(小笠原)

吉田 豊

昭和20年卒

伊藤 良治

小森 弘

榊原 和彦

清水 二郎

杉山 幹夫

高木 嘉昌

谷口 和男

林 慶一

福田 隴

川島 恒夫

昭和22年卒

山本 修

昭和23年卒

岡本太右衛門(良平)

熊田 勝治

熊田 英孝

下野 利彦

白木 哲朗

関谷 崇夫

高橋 利成

近松 隆夫

野中 馨

昭和24年卒

田中 啓一

岐高女

昭和7年卒

高木 あい(郷)

昭和13年卒

山田 一枝

昭和14年卒

池戸美代子(水川)

中村 綾子(神山)

村瀬喜代子

矢島 朝子

昭和16年卒

林 綾子(細野)

長原 千鶴(澁谷)

柳原 潔子(山田)

足立 美代(澤田)

昭和23年卒

田中まき子(松橋)

奥村千鶴子(正木)

河合 洋子(白木)

小石とみ子(海老名)

中村 延子(鶴飼)

溝口 久子(高井)

森 道子(赤尾)

若原たず子(出口)

鬼石ヒサ子(植村)

貝崎 禎子(瀬古)

岐高

昭和25年卒

後藤 悦男

服部 昌三

昭和26年卒

米山 宣子

昭和27年卒

国島 忠雄

中島 三恵(利子)

昭和28年卒

神谷 重平(平光)

小林 元一

松山美恵子(江川)

昭和29年卒

小川 斉

熊崎 明世(武山)

清水 外治

高橋 笑子(若林)

林 正憲

堀 孝子

安江 紀子(三輪)

渡辺イキ子(和田)

昭和30年卒

井戸参拾湖(今尾)

岡田 直美(堀)

小田多津子

大竹貴美子(木方)

河尻比佐子(国枝)

桑原 由忠

後藤 澄子(葛西)

後藤 康彦

佐藤 孝一

清水 雅彦

志知 毅

大宝 俊明

高井 哲

竹腰 洋子

多和田弘子

内藤 貞子(坂口)

長房香代子(早瀬)

布目 絢子(宇野)

平松 勇二

松岡 憲郎

真野なを子(横山直子)

森 明美(大洞)

安田多賀子(小塩)

矢井 正直

山口 憲一

横山 靖夫

渡部 義治

和田 義夫

昭和31年卒

浅野 宗平

今尾 隆嘉

伊藤 俊秀

江崎 嘯

塩谷 憲司

大内 雅博

小塩 敦子

加藤 公子

金武 恭

神戸 厚

河野満千子(野坂)

神山 公一

杉本 二郎

中井 斌子(福富)

仲 弘智(永井)

野々垣 孝(青木)

林 和美

藤野 幾子(安藤)

前田 元久	昭和34年卒	小森利八郎	山田 大	内田 幸正	山田 妙子(桑原)	高木 康雄	花川 幸一郎
真崎 時紀	井川 博子(岡部)	篠田 薫(青木)	昭39年卒	宇野 優	郷 睦和	高杉 幹生	花村 栄一
松岡 弘志(吉田)	伊藤 純代	武内 章(小島)	伊藤 雪子(水岡)	江口 孝一	小寺礼二郎(後藤)	高田 清	馬場 健三
松島 清子(井田)	伊東 英子(熊田)	平塚 正之	入山 正	遠藤 民雄	後藤 郁夫	高橋 敬	林 和夫
松波 善明	上野 紀男	安田洋一郎	梶 俊之	大江俊夫	後藤 憲秋	高橋 俊樹	林 再寿
松原 武徳(白木)	植松 聖子(久松)	山田 正	桐井 犬三	大竹 春美(武藤)	後藤 初子(土井)	高橋 幹夫	林 律子(石田)
三浦 正人	岡本 太一	昭36年卒	並河 鷹夫	大塚 泰子	小林 靖夫	高橋 泰之	原田 勇彦
水野 武彦	小川 弘	昭36年卒	松永 清彦	大橋 利正(牧野)	近藤 尚嗣	高間 弘道	日江井恵次
武藤 和子(堀江)	加藤 雅子	大野 道夫(田中)	赤塚 邦芳	大松 利幸	佐久間 崇	田口 修一	平光 孝司
山崎 道子(鈴木)	黒田 瑛子	佐野 実	安藤 潔	岡島三恵子(松尾)	澤田 栄子(小川)	竹森 正孝	福田 稔
横山 和永(木村)	小島 秀俊	澤田 尚子(篠田)	安藤 正弘	岡田 淳子(松野)	沢田 和好	多田 悦子(福田)	二村 耕一
渡辺克彦	鷺見 貴江(武藤)	三口 雅紀	小野崎弘樹	小川 治代(青木)	沢田 新平	田中 常隆	平井 花画(細野真弓)
昭和32年卒	長瀬千代實(浅井)	昭37年卒	荻田 幸男	小川 曾敏之	沢部さよ子(信田)	谷川 英一	堀部 茂遠
河村多美子(足立)	西澤 節子(坪井)	遠藤 伸子(大塚)	小野崎弘樹	小野崎弘樹	篠田 和幸	谷川 恵子(川原)	松崎茂一郎
近藤 博通	新田 隆(阿部)	岡本 文吉	安藤 邦芳	荻田 幸男	川村 昌子(篠田)	津田 要一	松原 秀敏
清水 勝	丹羽 斌	尾関 良平	安藤 正弘	小野崎弘樹	柴田 丈夫	田中 宏行(刺使河原)	松原 雅治
林 博司	藤井 孝一	高木 和子(花林)	池田 省三	加藤 泰正	勝野 洋子(伊神)	島津 昌弘	脇田 博子(寺町)
矢崎 俣子(河野)	藤浦 規子(熊田)	寺島 健	井桁 正弘	加藤 泰正	加藤 泰正	下谷 靖子(神園)	寺田恵美子(古田)
柳原 昌子(小野木)	村瀬 孝夫	昭38年卒	石黒由美子(沢田)	加納 賢次	加納 賢次	八代 和恵(白木)	永田 和宏
昭和33年卒	宮本悠美子(信下)	昭38年卒	石田喜代子(山口)	川瀬 正毅(力)	川瀬 正毅(力)	白橋 孝臣	永田 敏明
岩田 金治	葛谷 武彦	高橋 秀法	石原 隆昌	河村 吉秋	河村 吉秋	末松 治	永田 敏明
葛西 孝子	昭35年卒	玉井 博祐(弘子)	伊藤 敬子(林)	衣笠 宏允	衣笠 宏允	鰐部 好道(菅尾)	中山 真一
玉井 徹	安藤 誠彦	丹下 忠彰	伊藤 堯	木方 正	木方 正	杉山 定善	南谷 義光
西澤 恭平	岩佐 充矩	中谷 克彦	岩井 弘栄	葛谷 和夫	葛谷 和夫	杉山美智代(小酒井)	西川 恵子
松久 弘子(武井)	角田菜嵯子(栗本雅子)	宮崎 千恵	岩田 健展	葛谷 敬恵(中島)	葛谷 敬恵(中島)	鈴木 逸也	西村香代子(村瀬)
吉村英太郎	小島 藤司	森嶋 靖雄	岩村 信之	国井 恵子(吉野)	国井 恵子(吉野)	鈴木 敬子(大竹)	森川 幸江(梅田)
			上山 芳範	熊田 英敏	熊田 英敏	瀬川 千恵(北洞)	森崎 義道
				倉田 孜	関谷 幸平	橋詰 恒雄	安井 順子(篠田)
							柳原三太郎
							柳原富司忠
							八幡 彰博

山田 保子(小塩)	後藤 淳子(勝野)	森 英範	<b>昭和44年卒</b>	駒月 純	西脇みゆき(太田)	江馬城益子(中村)	平田 直彦
山田 謙一	後藤 真一	岩田 潤三	河村 都以(小野)	杉本 尚子(中洞)	加藤 敦	中原 練三	浅井 都
山田 鈴子(坪内)	小林 曙	岩田 均	所 克仁	橋詰 芳範	龜山 啓一	横山満智子(成田)	市橋 正樹
山田 良彦	佐久間朋子	福井 幸夫	<b>昭和46年卒</b>	水野 耕司	川部 昌洋	西村 里恵	真野 綾子(大野)
山中 治	佐藤 哲見	小笠原文雄	早矢仕直彦(川並)	水野 耕司	川部 昌洋	野田 宏之	大野 暢宏
山村 哲郎	鷺見 敏郎	岡本 和夫	木方伸一郎	木村 容子(犬飼)	荻谷 敬三	野田 康彦	南崎 光子(河村)
由良 雅生	田中美恵子(奥西)	後藤 三郎	木村 容子(犬飼)	<b>昭和50年卒</b>	小倉 俊英	羽田野昭人	久保田清隆
吉田 和之	棚橋 乙磨	玉木 信久	坂田 文雄	蒲澤 ゆき(山本)	佐藤 善昭	林 正治	宗宮 優
吉田 和弘	戸野部勝司	信田 朝次	鹿野 孝紀	河田 孝広	坂口 浩之	早野 佳志	柴田 美恵(高木)
吉村 文雄	西尾 有生	馬場 正三	鷺見 博信	寺嶋 昌代(野田)	澤田 勝範	花井 国雄	長沼 達史
渡辺 英暉	永田 章	細江 茂光	伊藤陽一郎	伊藤陽一郎	佐伯 篤	寺町 靖子(林)	志知 朋子(中山)
<b>昭和41年卒</b>	中谷 綾子(山本)	柳瀬 秀治	<b>昭和47年卒</b>	松田 雅文	渡辺 啓子(坂口)	林 香余(広瀬香代)	速水 泰広
石井 正志	二宮 保典	米田 滋夫	後藤 寿彦	渡邊 威	下川 治	堀田ひとみ(二村)	馬淵 清美(古川)
石川 咲子(奥田)	古川 武光	羽田野正史	柳原 隆司	丸山 仁	清水 富士夫	堀江 誠	松久 卓
横山 仁美(伊藤)	平工 光子(今治)	伊藤 壽	若園 重雄	広瀬 卓司	篠田 達郎	宮地 斉子(松田)	矢嶋 茂裕
犬飼晋一郎	広瀬 哲男	岩間 憲三	<b>昭和48年卒</b>	浅野 紀男	渋谷 英司	松井 義親	山口 正人
岩砂 三平	水谷 邦照	小川 順子(各務)	小森 芳郎	宮崎代里子(浅見)	柴田 武治	松田 一雄	宇野 温子(山下)
上野 博司	吉田 啓子(宮木)	川島 博文	坂井田 勉	青木 孝彦	湊口 順子(瀬木)	松波 英寿	<b>昭和52年卒</b>
江崎 雅康	田中 和子(宮嶋)	形見 武男	森本富美子(太田)	加納 暁子(青木)	柴田 美貴(仙石)	堀 喜久子(松尾)	<b>昭和52年卒</b>
大竹 利則	山田 憲治	杉山 恵子(五島)	杉山 保幸	伊井 和彦	園部 利彦	水野 勝仁	石樽 一博
片桐 昌子(佐藤)	山本 恵子(永田)	鷺見 守昭	所 礼子(大野)	柴垣 紀子(市川)	高木 寛治	村瀬 幸雄	水谷 透
兼山 瓊典	新美佐知子(渡辺)	瀬川 順子	細江由喜子(菘島)	白井 淳美	立木 恒雄	山田 浩司	<b>昭和53年卒</b>
川出 正男	高井 直樹	棚橋鋭市朗	所 礼子(大野)	金子 規子(梅原)	田中 健児	山本 悟	香田 和宏
桐山 直泰	<b>昭和42年卒</b>	日比野広子(坂田)	菘島 伸生	奥村 俊雄	葦埜美保子(竹中)	山口 喜弘	吉田万里子
小石千代子(岩田)	関谷 司	山田 貴明	<b>昭和49年卒</b>	大内 博史	成瀬 博昭	<b>昭和51年卒</b>	<b>昭和54年卒</b>
加藤 俊子(河野)	中島 幸宣	恩田 一光	大倉 光弘	永田 雅裕	杉山 文康		

江見 朗

上田 晶子

須原 清貴

柳澤 素子

平成15年卒

上野 桂一

瀬古 純一

山田佳津良

米光 正絵

昭和55年卒

白井 訓章

高橋 孝夫

吉田ちはる(藤)

中西 謙司

内山 峰樹

高橋 美幸(篠田)

渡辺 祐子(角田優子)

森 正

梅本 雅史

高山 友章

服部恵美子(沢井)

昭和56年卒

浦山 晶子(永井)

丹所 静代(潮田)

園田 耕司

大野 民生

椿井 康司

昭和61年卒

昭和57年卒

大野 友子(棚瀬)

樋田 守律(小木眞理)

早川 徹

松岡 正人

大野 玲子(笠井)

道家 康雄

奥村 和之

昭和58年卒

大洞 正和

富田 美穂子

北原 敏

渡辺 潤

岡田 恒一

富田 和宏

山内 康史

太塚 茂記

尾畑あけみ

中谷 俊晴

伊藤 陽子(小鳥)

服部 弘典

加藤 浩行

長屋由香里(渡辺)

竹中 俊雄

昭和59年卒

河合 和佳(家洞)

長谷川由佳

長瀬 普子(小野木)

可児 成章

川島 洋行

畑中 秀哉

小村 幸子(井上)

高納 勝寿

北村 憲正

林 克彦

関谷 篤

昭和60年卒

久世 美香

林 貴子(松尾)

片桐 千華

青木 繁美(間野)

駒月 正人

堀 卓朗

昭和63年卒

浅野満由美(玉井)

佐藤 陽子(高井)

堀口 勝人

後藤 由香子

朝広 朋子(中島)

坂井 紀子(大野)

松原 一恵

平成元年卒

安藤 基成

清水 省吾

松久 浩幸

美濃島広幸

泉 善七

白木 裕美(吉田)

森 弘典

平成9年卒

伊藤 裕崇

真田 和明

森島 逸郎

守野 正志

伊藤 正英

杉山 隆英

安江 紀裕

守野 正志

## 平成20年度 岐阜高校同窓会総会運営委員会委員名簿

担当部門	卒年	氏 名			
運営委員長	40年	森川 幸江			
運営副委員長	50年	松波 英寿			
	60年	安江 紀裕			
事務局	40年	※衣笠 宏允	○後藤 郁夫	山田 謙一	松山 英一
		瀬川 千恵	大塚 泰子	岡島 三恵子	高橋 泰之
		吉村 文雄	永田 和宏		
総務部	40年	◎柴田 丈夫	○青木 茂	南谷 義光	関谷 幸平
		杉山美智代	寺田恵美子		
	50年	◎荻谷 敬三	○野村 健	花井 国雄	林 香余
	60年	◎泉 善七	○中川 貴雅	土岐 公男	
財務部	40年	◎見田村勝信	○所 直好	野中 昭彦	高木 康雄
		多田 悦子	末松 治		
	50年	◎水野 勝仁	○清水富士夫		
	60年	◎呉岡 文二	○岡田 恒一	山本 茂樹	
広告部	40年	◎大松 利幸	◎上野 允久	○小林 靖夫	岩井 弘栄
		森崎 義道	吉田 隆彦	八田 和彦	花村 榮一
	50年	◎澤田 勝範	○永田 雅裕	佐藤 善昭	松田 一雄
	60年	◎大洞 正和	○真藤 雅史	山田 佳津良	西村 雅史
動員部	40年	◎白橋 孝臣	○平光 孝司	岩田 健展	伊藤 敬子
		遠藤 民雄	安井 順子	沢部さよ子	小川 治代
	50年	◎羽田野昭人	○山本 典孝	花井 国雄	
	60年	◎駒月 正人	○杉山 隆英		
会報部	40年	◎田中 常隆	○鈴木 逸也	○小寺礼二郎	大江 俊夫
		石原 隆昌	杉山美智代	大竹 春美	平井 花画
		竹森 正孝	林 再寿	平光 孝司	
	50年	◎園部 利彦	○坂口 浩之	西脇みゆき	下川 治
		湊口 順子			
	60年	◎林 貴子	○高橋 美幸	渡辺 祐子	樋田 守律
会場部	40年	◎高田 清	○水谷 治雄	平光 孝司	小木曾敏之
		柳原富司忠	杉山 定善	澤田 栄子	後藤 初子
		笠原多喜子			
	50年	◎篠田 達郎	○柴田 武治	河田 孝広	宮崎代里子
		江馬城益子			
	60年	◎臼井 訓章	○浦山 晶子	清水 省吾	玉井 勝政

※事務局長 ◎部長 ○副部長

事務局 岐阜市北一色7-14-21 柴田商店内

応援団々歌(その一)

J=88

♪ きんかじょうとう つきさえて ばんしょうすーべて  
 しじまなり がいせのえいゆう のぶながの  
 ゆうとのあーとに こけむし ぬ

八、誘ふ嵐に散らされず  
朝日に匂ふ桜花

七、さにはあれ心せ同胞の  
桜の花の散るあらば

六、敵に鬼神の勇あるも  
我には紅き血潮あり

五、如何なる敵の迫るとも  
破邪の剣をぬき立てば

四、悲壯の風の吹き荒び  
校の徽章の桜花

三、熱血受けし一千の  
桜の香り身に沁みて

二、嗚呼熱血児信長の  
ありし昔を偲びては

一、金華城頭月冴えて  
蓋世の英雄信長の

八、寄せ来る仇は多くとも  
竜車に向う蟻螂ぞ

七、仇に天魔の計あるも  
からくれなるを見ずや君

六、香りは永き百三十余年  
散るその下に死なん哉

五、尽くせし心の現はれて  
その花の下に我れ立たん

四、混濁の波逆巻けど  
身もて護る健児団

三、心一つの健児等が  
根城構へて百三十余年

二、覇業は夢と消え果てど  
健児無量の想ひあり

一、万象すべて沈黙なり  
雄図の跡に苔むしぬ

応援団々歌(その二)

岐阜中学／岐阜高女／岐阜高校  
校歌／応援歌

凱旋歌

凱旋歌

たいざんれいとーきゆるとも わがみにいさおし なかりせば  
 ちかってそうしにまみえじと いでしかようの けんだんじ

一、泰山厲と消ゆるとも  
誓つて桑梓に見えじと  
我が身に功なりせば  
出でし華陽の健男児

二、されど見よ見よ今はこれ  
姿を変へて悠々と  
我が大丈夫は帰り来ぬ  
身に大功の光そへ



宣 戦 の 歌

宣 戦 の 歌

戦はんかな時期<sup>とき</sup>到る

戦はんかな時期到る

戦はんかな時期到る

戦はんかな時期到る

遠 征 歌

遠 征 歌

一、嗚呼湧き出づる懐古の情

平<sup>へい</sup>蕉<sup>きょう</sup>は迷ふ中原の

二、移り変はれば春秋の

赤き血潮の桜花

三、かかる誉を身に受けて

戦ふ友の鉄腕を

四、されど汝が持つ肉と血は

校を愛する丹心<sup>たんしん</sup>の

五、奮<sup>ふる</sup>へ奮<sup>ふる</sup>へいざ奮<sup>ふる</sup>へ

屍<sup>しかばね</sup>となるも我が校の

百三十余年のいにしへに

華陽の庭に鹿逐ひて

秋<sup>あき</sup>は来れども我が校の

尽きぬ榮華に散りやらず

千里の外に鋒<sup>やぶ</sup>取りて

吹くや異郷<sup>いせきょう</sup>の風重し

華陽の健児一千の

鉄より堅き凝結ぞ

骸骨<sup>がいこつ</sup>砕け肉破れ

青史の光を守れよや

奮え岐高の熱腸児

奮え岐高の熱腸児

奮<sup>ふる</sup>え岐高の熱腸児

努めよ華陽の健男<sup>けんなん</sup>児<sup>じ</sup>

今や我等の精銳に

敵の固めは破れたり

雌雄を決すは此の時ぞ

功<sup>いさお</sup>を樹つるは此の時ぞ

(二回連続)

古今興亡百三十余年

こーこん こうぼう ひやくさんじゅう よねん  
 れきしの あーとを しのばせて  
 いてん しかいに そびえたつ  
 のうびへ いやの いっかくに  
 ぞくせい よくかい ひくくみる  
 かようけんじの いきたかし

古今興亡百三十余年

一、古今興亡百三十余年  
 一天四海に聳え立つ  
 俗世慾界低く見る  
 華陽健児の意気高し

二、沖つ荒潮あるるとも  
 見よ我が骨の硬きとき  
 照して世々に力あり  
 凄<sup>せいでん</sup>電地をば砕くとも  
 見よ我が息のかよふとき  
 ああ一千の健児団

三、敵軍如何に強くとも  
 この黒鉄<sup>くろがね</sup>の腕こぶし  
 血潮に染めし応援旗  
 打てば破れぬことやある  
 振へば<sup>せうし</sup>双手声なる  
 華陽健児の敵いづこ

花吹雪

ちるべきときちらざれば ちるにもまーさるはじあらむ  
 はーなのふぶきと こうのため いでや いさぎよく

花吹雪

一、散るべき時に散らざれば  
 花の吹雪と校のため  
 散るにもまさる恥あらむ  
 いでやいさぎよく

二、いづれも年は若木なる  
 みなこれ母校の為にこそ  
 盛りの花を散らさむも  
 奮へ 奮へ

三、校の譽<sup>ほまれ</sup>を生命<sup>いのち</sup>にて  
 正義に刃向ふ敵ぞなき  
 戦ふ吾等は正<sup>せい</sup>なれや  
 奮へ 奮へ

四、鍛へ鍛へし吾が腕の  
 暴<sup>あま</sup>風の雲は跡たちぬ  
 今日<sup>けふ</sup>は空さへ冴えわたり  
 嬉し 嬉し

五、哀<sup>あは</sup>れなる哉<sup>や</sup>井底<sup>いぞこ</sup>の  
 今日こそ見せん我が校の  
 腕の冴えを  
 蛙<sup>か</sup>に等しき汝等よ

征 下 軍 歌

征 下 軍 歌

みよーれいろうのいなばやま  
 さんれいとわにたかくして  
 ありしむかしのえいゆうの  
 でんとううけしけんじらが  
 ゆうべのこじょうを  
 あおぎては  
 ぎぎせんしゅうのいろふかし

一、見よ玲瓏の稲葉山  
 ありし昔の英雄の  
 夕の古城を仰ぎては  
 麗にそそる華陽校  
 胸に秘めたる青雲の  
 千城深く攻め入らば  
 朝暁東にたださして  
 常盤の松に映ゆる時  
 血潮の赤旗押し立てて  
 生死の境渺茫の  
 根城は固し一千の  
 慷慨決死百万の  
 修羅の巷に戦ひて  
 鉄腕撫して起てる時  
 ああ〇〇部の健男子

山霊永久に高くして  
 伝統受けし健児等が  
 巍巍千秋の色深かし  
 不羈卓犖の大丈夫が  
 のぞみの光り辿りつつ  
 吾事いかで成らざらん  
 黄金の征矢燦爛と  
 いざ一千の健男子  
 金鼓堂々首途せん  
 荒野を馳する猛者ならば  
 偉丈夫意気に感じては  
 精騎も遂に破るべし  
 たそがれわたる残塁に  
 栄光漲る顔に  
 勝鬃高くあげんかな

岐 阜 高 等 女 学 校 校 歌

アムキ アマヤ スイナ ミナガ ムバウ クマウ ニノ ササセ カガノ  
 ユタハ ヨカヨ ニシシ ワワツ ウララシ ヨをヲ トノメノ クタキ マカヨ アココ ヒココ ルをヲ サタヒ レニヒム  
 ムビダ マヒダ カミダ トヒシ ヒビシ ニノヲ アタカ マニク クレカカ ヘラノ ミカエ マキマ ノリヒ ミツ  
 コクツ ノハシ リヤウ

一、あゝ  
 すめらみ国榮ゆる御代に  
 われら処女  
 生れあひたる幸  
 胸の境と日々にあふく  
 教への道の勸語

二、見よ  
 稲葉山の姿は高し  
 われら処女  
 高く心を保たむ  
 国の御為に人の為に  
 力のかぎりつくさばや

三、聞け  
 長良川の瀬の音は清し  
 われら処女  
 清く心をみがかむ  
 はげみいそしみ  
 操かたく  
 明るき微笑うつくしく

岐 阜 高 等 女 学 校 校 歌  
 作詞 佐々木 信綱  
 作曲 下総 皖一

応 援 団 々 歌 (その二)

マギョウ コソハレ の ヒアゲ ズ ヤカラドキ を カテ  
 カテ カテ カテ カテ カテ  
 カテ カテ カテ

一、今日こそ晴れの日  
 あげずや勝鬃を  
 勝て勝て  
 勝てや勝て

二、岐阜市のシンボル  
 誇りは金華山  
 立て立て  
 立てや立て

三、長良の川水  
 流れて止まらず  
 行け行け  
 行けや行け

四、輝くこの旗  
 我等の此の意気を  
 振れ振れ  
 振れや振れ

応 援 団 々 歌 (その二)

姫小松 (創立記念日の歌)

姫小松 (創立記念日の歌)

まなびの にわの ひめこまつ  
めぐみの つゆに うるほひて

ちよのみ さおに たぐへつ つ  
みどりゆ かしき ひめこまつ

うーえし そのひの めぐりーきぬー  
いーよよ ますます しげるーべしー

いざやーい わ わん もろとも にー  
ちよにーや ち よに さかえな んー

作詞 伊藤 栄三  
作曲 柏木 栄治

(一) 学びの庭の姫小松

千代の操にたくへつゝ

植ゑしその日のめぐりきぬ

いざや祝はん諸共に

(二) 恵みのつゆにうるほひて

みどりゆかしき姫小松

いよよますますしげるべし

千代に八千代にさかえなん

岐高女同窓会の歌

岐高女同窓会の歌

1. かへるか りーがね くる つぼめ  
2. マナビノ マドノー アケク レニ  
3. すぎし そーのーひを し の び つ

も と を わ す れ ぬ と も が き の  
こ つ ロ カ タ リ シ ハ ナ ノ カ ゲ  
い ま の さ ま を も か た り つ

し る と し ら ぬ の へ だ て な く  
み ヲ バ ヤ ス メ シ マ ツ ノ モ ト  
す ぶ を ち か ひ て も ろ と も に

つ ど ふ も う れ し こ の ま ど る  
オ モ ヒ デ オ ホ キ ソ ノ カ ミ ヤ  
た の し き け ふ を す じ ー さ な ん

作詞 伊藤 栄三  
作曲 柏木 栄治

一、かへる雁がね来る燕 元をわすれぬ友垣の

知ると知らぬの隔てなく 集ふも嬉し此の会合

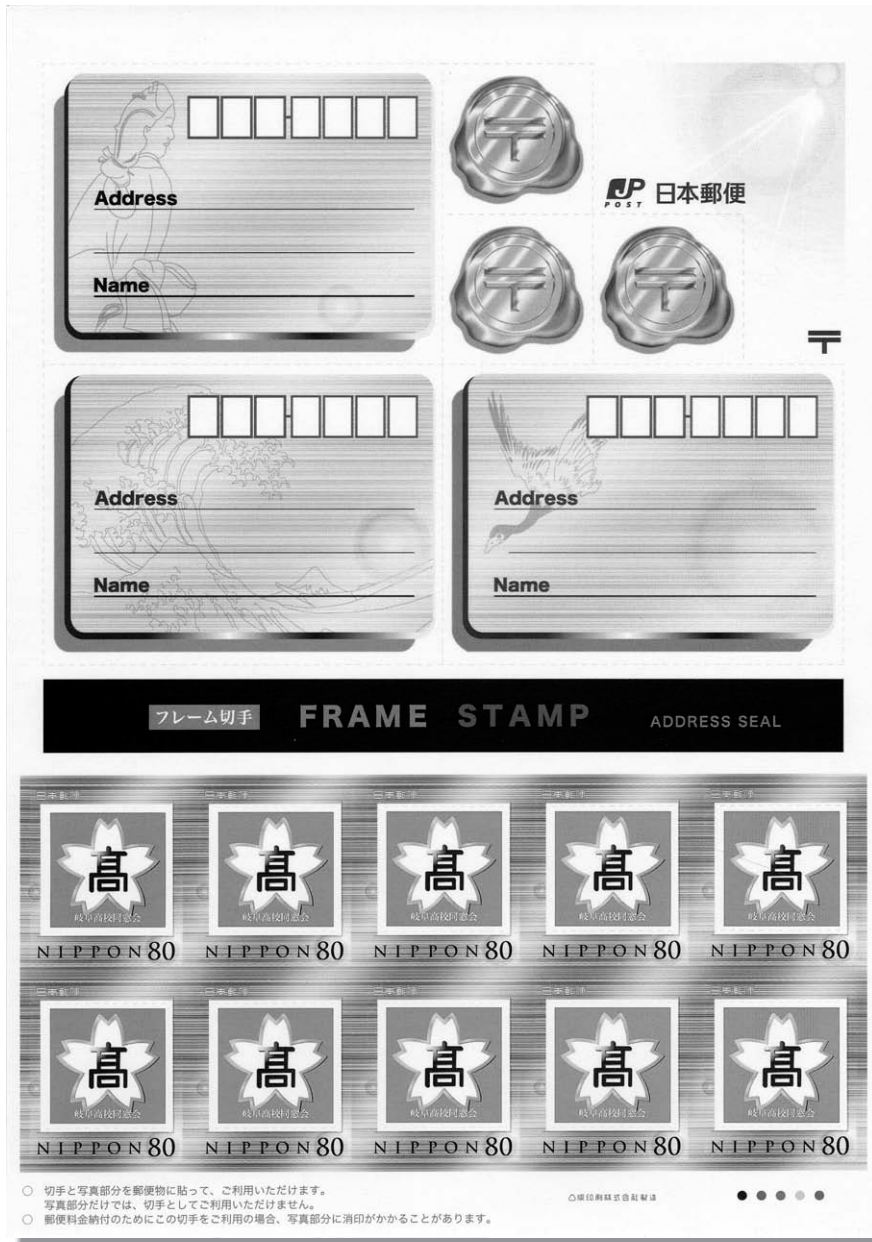
二、学びの窓のあけくれに 心語りし桜花の蔭

身をば休めし老松の下 思ひ出多き当時や

三、過ぎし其日を偲びつゝ 現今の様をも語りつゝ

未来を誓ひて諸共に 楽しき今日を過ぎなん

記念に岐阜高校同窓会オリジナル切手シートを作成しました。



尚、この切手のデザインは  
杉山定善君(40年卒)の協  
力を得て作成しました。

## 事務局からのお願い

**住所変更及びメールアドレス登録はHPで!**

住所変更された場合やeメールの登録は、同窓会のホームページから行ってください。

HPには随時新しい情報が掲載されますし、メール登録をされた方には毎年、同窓会総会などのご案内を差し上げます。また、会員の皆様からの有益な情報や学年同窓会開催案内などをお寄せください。可能なかぎりHPに掲載いたします。

●岐阜高校同窓会HPアドレス

<http://www.gikou-dousoukai.jp/>



## 編集後記

### ▽広告ご協賛の

### 御礼

平成二〇年度岐阜高等学校同窓会総会の開催に伴う会報の発行に際し、広告のご協賛を賜りました皆様に厚くお礼申し上げます。

なお、ご紹介順序は会報の構成上順不同となっております。何卒ご了承下さいます様よろしくお願い申し上げます。

平成二〇年六月一五日

岐阜県立岐阜高等学校同窓会  
平成二〇年度総会運営委員会  
運営委員長 森川 幸江

平成二〇年度の岐阜県立岐阜高等学校同窓会「会報」をお届けします。会報編集に際し、同窓会会長、校長先生、恩師の先生方には心温まる示唆に富んだ寄稿を賜り、心より厚く御礼申し上げます。また、先輩諸兄妹をはじめ多くの同窓生の皆様方にも、ご多用中にもかかわらず、快諾をいただき、各々の活躍の様子や人生の機微を見事に表現されたすばらしい原稿を寄せていただき、本当にありがとうございます。母校は実に多士済々、人材の宝庫であると改めて感じ入りました。さて、今号は、カラーのデジタルページを初めて導入いたしました。会報を手にした方々にできるだけ親しみをもっていたきたい、あるいは、幹事学年の高校時代の世相情報をお知らせして当時を懐かしんでいただきたい、さらには、母校がいよいよ改築着工の年度となるため、現在の姿を少しでも紙面に残し、変貌前の校舎に対する在校生からのメッセージも受け止めたい等々、種々の思いを紙面に表現するよう工夫を凝らしました。

特に、表紙のレイアウトと作成及び美術の授業での校内写生を指導していただいた母校の谷口輝己先生、生徒の校内生活の様子や校内施設の写真を提供してくださった母校の水谷透先生、また表紙や挿絵用として校内を写生した作品を提供してくださった在校生の皆さんからの絶大なるご協力に對しましては、心よりの御礼を申し上げます。

会報編集には、昭和四〇年、昭和五〇年、昭和六〇年の卒業生が幹事学年として担当しました。この編集作業を終えるにあたり、本当に多くの皆様のご支援・ご協力のおかげでなんとかお役目を務めさせていただけたのだなあと、改めて皆様への感謝の気持ちで一杯になりました。しかし、こうした作業には不慣れな者ばかりのため、多くの皆様にご迷惑をおかけしたことを存じます。この場をお借りしてお詫びを申し上げます。

最後になりましたが、母校のますますの発展と母校に関わるすべての皆様のご健勝とご多幸並びに世界の平和を祈念し結びとさせていただきます。

同窓会総会運営委員会 会報部会一同

# 岐 阜 県 民 の 歌

作 詞 永 縄 半 助  
作 編 曲 服 部 正

Allegro Moderato

Vocal

Piano

み ぶ か    な ら が    か か や    ら べ    み ま ぶ    な ら ん    一 一 へ 一 へ    こ せ い    と り き り    も に え な    ん だ だ    り べ だ

み つ め    ど り つ い    を く し よ    そ へ し    め い せ    一 一 き に    あ く か    さ の と か    ひ お お    一 一 が くり

た だ は    か じ な    い の も    こ な も    ず な み    一 一 一 一 じ    だ ろ も    ゆ も う    れ え が    い い り    一 一 一 一 ち め

の の は    び か す    る ら ち    き む こ    一 一 一 一 子    う ん ん    き で で    う は す    た げ す    お も も    う ろ う    め づ ろ

## 岐 阜 県 民 の 歌

- 一、みどりをそめて 朝の日は  
高い梢に ゆれている  
嶺から嶺へ 小鳥もよんで  
岐阜は木の国 山の国  
伸びる希望を うたおうよ
- 二、つづく平野の 雲遠く  
虹のいろ もえている  
村から街へ 生気に映えて  
岐阜は野の国 幸の国  
力むすんで はげもうよ
- 三、名所史蹟に 風かおり  
花ももみじも 鶉かがりも  
かがやく文化に 色そえながら  
岐阜は詩の国 水の国  
はずむ心で 進もうよ